

# 西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第 37 号

発行日：平成三年四月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会

一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28-9002

## 思いやり事業がいよいよ始動 事業計画と予算 総会で決まる

西成連区地域づくり協議会の新年度（平成23年度）事業計画と予算が、3月29日に開催された総会で決まりました。

これによると、西成連区地域づくり協議会の基本姿勢である「安心して暮らせる、事故のない、安全で健康な地域」を目指す思いやり事業が、随所に盛り込まれており、ますます充実した事業内容になっている。

例えば、孤独死が発端となった、西成生まれの「見守りネットワーク事業」を拡充することにより、西成から無縁社会を一掃することを目指しています。向こう三軒両隣りと言う地域の縁を大切にし、お隣同士が、日頃のちょっとした気配り・目配りを心がけていただけるよう、新年度のキーワードを「縁」にすることになりました。

昨年来、テレビや新聞などでも話題となっている、高齢者の孤独死や、生存が確認ができないなどの不祥事が発覚し、地域社会の崩壊が唱えられています。

また、予測できない地震や火災、豪雨などの自然災害の時には、老々・一人暮らしなどの人たちを、隣近所の一人ひとりが相互に助け合い、見守ることのできる、温もりの溢れる西成連区を目指しましょう。

事業元年だった21年度来の、敬老会や一斉ごみゼロ運動などに加え、年々加わる、新たな新年度事業の数々にご期待ください。

### ■まずは自助 大切なのは共助■ 編集時雑感

未曾有で想定外のM9、最大震度7という巨大地震（東北関東地震）の痛ましい映像が各報道機関から流れた。津波や原発事故をも併発し大混乱の様子。

この西成も、明治24年の濃尾地震（M8、最大震度6、死者数7273人）から数えて120年を迎える。私たちも、常日頃から不測の事態に備え、まずは自助、そのあと大切なのが向こう三軒両隣の地縁・血縁の共助だ。西成連区地域づくり協議会の目指す姿勢は、見守りネットワークを通しての共助であります。

西成を学び 西成の良さを知り 西成のために みんなの英知を集めよう！  
熱き郷土愛を育み 西成の連帯の輪を築こう

## 第34回 浅野公園つつじ祭

4月29日(金)～ 30日(土)

お楽しみの ところてん・お抹茶・わたがし・フリーマーケット などが用意しています

●駐車場がありません。出来るだけ名鉄バス岩倉線をご利用ください●

一宮市観光協会 一宮つつじ祭推進協議会 ・浅野校区町内会 同史蹟顕彰会 浅野商店街振興組合

HPをご覧ください。「にしなり」(ひらがな)で検索! <http://www.138nr.com>

# 縁